

やじうま議会ウォッチング

平成29年9月議会「議会、議員の責任は？」



平成29年9月議会は、陳情1件、議員提出議案1件、町長提出議案13件が審議。平成28年度決算審査特別委員会も開催。本会議は、4人の決算総括質疑、6人の一般質問。

用意周到な質問構築を。

数年前に比べて傍聴者も増え、傍聴席が満席になることもあり、喜ばしいです。今回からは、議場でパワーポイントを使って議員が質問もできるようになりました。しかし、画面自体や画面編集も見にくく、何のために導入したのか、わかりません。

議員質問は、町長の答弁が二宮町の現状説明原稿を読んでいるだけ、一般論しか引き出せないことが多い。時に考えを引き出せても仕組みや体制づくりまで踏み込めず、実行性を担保できていません。

また、幹部職員の答弁に問題意識や責任意識がなく、議員意識との主観の相違で堂々巡りになるのは、議員の質問の詰めが甘く、議会も条例規定された活動原則を全うしていないからです。

議員報酬と期末手当、共済費の総額は7,420万6千円。

これは二宮町がシンクタンクに総合計画や実施計画の一連の委託料に払うより、遥かに高額。議長に払う期末手当は200万円近く、大半の町民の期末手当より高額ではないでしょうか。

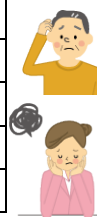
しかし、議員の一般質問の質は疑問を禁じえません。一般質問は役場を動かし、地域をより良

貴重な私たちの税金を充てるのですから専門性を持って、事前調査をし、用意周到な質問構築を期待します。

役職	議長	副議長	議員
月額報酬	382,000	299,900	283,000
期末手当	6月	946,596	701,274
	12月	1,036,748	768,062

平成29年度当初予算議会費 単位:円

議員報酬	48,924,000
議員期末手当	21,168,000
議員共済費	4,114,000
計	74,206,000
議会費総額	120,547,000



残り一年責務を全うする議員活動を。

議員任期も残り一年余りです。責務を全うする議員活動に尽力してほしいと思います。真摯さが伝わる議員活動ならば、一町民として協力は惜しみません。

こんな公職者にレッドカードを!

民事訴訟で前町長を証人尋問

平成26年の議会本会議での当時の町長の発言に対し、平成28年5月に民事訴訟が提訴され、今年10月12日に前町長に証人尋問が行われました。

これは、「こりゃひどいー坂本町政」と「背任かー坂本町政」で二宮町の不可解な土地売買を問題提起したことに対し当時の町長が誹謗中傷されたこと刑事告訴、「でたらめ」など事実を反した発言を名指しで行い、ケーブルテレビ放映、会議録公開し、耐え難い程の屈辱感や精神的苦痛を与えたとし、町民等二名が損害賠償を請求したものです。

「うその証言はしない」と前町長は宣誓したにも関わらず、つじつまの合わない驚きの証言ばかりでした。

原告側の弁護士は追及に当時の町長は「土地売買の実務は職員がしているの、わからない」。調べもしないで「でたらめ」とした根拠は「町役場の事務方がしていることは間違いがない」と発言。事実関係を立証もしないで刑事告訴したことが明らかになりました。さらに、「町長であったから警察は受理した」とも発言。(詳しい前町長の証言内容は「お風ブログ」<http://shiokazeblog.jp/>をご覧ください。)

町長の責務・公人・人権・自治意識の恐ろしいほどない人が8年間も町長していたとは、啞然としました。「職員任せでわからない、知らない」とする無責任さに職員も被害者だと思いました。

12月議会を楽しもう!

議会開催予定
12月1日(金)~8日(金)
(会期8日間)
しお風ブログも「議会ウォッチング」を発信。しお風ホームページ
<http://shiokazecommunity.jimdo.com/> の「二宮を知りたい」の「二宮の課題」で議会ウォッチングをご覧ください。
お問合せ
まちづくり工房「しお風」神保智子
☎090-3142-9358
shiokaze@mj.scn-net.ne.jp

	議員名(敬称省略)	質問概要	傍聴コメント
決算総括質疑 9月11日(月)	二宮 節子 <1期> 議会だより編集委員会 副委員長	平成28年度決算の総論について 1 総論 2 一般会計の歳入歳出について 3 一般会計の歳入歳出について 4 「二宮町総合戦略」の主な施策の成果について	決算全般の質問は、昨年度決算の解説として傍聴者が聞くには良かった。しかし、町長は二宮の財政分析原稿を読んでいるだけ。現状、一般論で、ビジョンは引き出せず。議員は答弁を鵜呑みにせず、問題点を繰り返し、要望で指摘した内容を鋭く追及してほしい。
	一石 洋子 <1期> 教育福祉常任委員会 副委員長	1 職員が心豊かに働ける環境への町の取り組み 2 農の多面的活用によるまちづくりについての28年度事業と今後の展望 3 子宮頸がん予防ワクチン副反応に対する町のスタンス 4 自然エネルギーの導入促進の28年度の動きと今後の展開	格調高いところから二宮町の具体的な質問を行う一石には毎回頭が下がる。特にワクチン問題については市民運動をしてきたはずの村田町長のスタンスを厳しく追及。しかし、答弁は一般論が多く、考えを引き出しても今後の仕組みや体制について踏み込むことができず、具現性が不明。
	柳川 駅司 <1期>	1 初めての予算執行結果としての村田町長カラーの実現化と今後の課題 2 高齢化著しい開発整備住宅地に必要なまちづくり 3 地元産業の活性化、駅前活性化などについての考え	町の現状、施策の進行状態を答弁で引き出すだけで、最後にいろいろ要望して質問を終えてしまった。町の施策で充分とは考えられないし、国から要求されているから計画している町の重点施策の現状を問題として追求してほしい。
	小笠原 陶子 <5期> 副議長	1 北口駐輪場の早急な改善、駅周辺に点在する駐輪場の考えと利用者が使いやすい努力 2 1級町道10号線の整備 3 自力歩行困難者、軽度認知症の方、老々介護や日中独居の方へのケア、民生委員への情報の課題への対策 4 空き家の大木伐採や枯草の問題解決への今一層の支援についての町の考え	地域福祉に他市の事例から地域に調整役を置く提案をしたが、その答弁は一般論。問題点と町の特性からの課題は違う。二宮の課題を明らかにさせ、アプローチや体制づくり、優先順位の指針の答弁を引き出してほしい。20年以上の議員生活で、答弁が町の現状や現在の問題を列挙させるだけ、他の議員に答弁した現状を同じように繰り返させていて良いのか。ベテラン議員の手腕を発揮してほしい。
一般質問 9月13日(木)	前田 憲一郎 <1期> 教育福祉常任委員会 委員長	二宮町営袖ヶ浦プール・海水浴場の再開について伺う 1 休業した経緯 2 現在の検討内容 3 袖ヶ浦海水浴場を再開するための条件、プール施設との関連	過去にもした質問。今回は収支比較、小学校の児童数からの地域格差、町の計画性のなさ、海水浴場の再開には袖ヶ浦プールの再開が得策であることも示し、的を射た質問と思われた。しかし、休止は過去の議会の要望を踏まえての決定、事前にもっと練り上げて質問してほしい。
	露木 佳代 <1期> 議会基本条例推進委員会 委員長	一市二町「消防指令業務の共同運用」に伴う課題解決と消防署職員の勤務体制、処遇について 1 現状の業務及び人員に関する課題や対策、今後の二宮町消防署の通信指令室の在り方 2 部制から3部制へ試行変更されている勤務体制 3 消防署職員を大切にするための課題解決と管理職の危機管理意識等	消防職員の実態ヒアリングもしたうえで質問。でも、この課題は予算措置する時にも想定できる課題で、予算審査の時に議会委員会で検討すべきであったと思う。二宮町消防署通信指令室のポロ椅子1台だけの写真では執務環境の悪さは伝わってこない。しかし、問題意識のない答弁に危機管理意識のなさを感じた。もっと厳しく追及しないと主観の相違で片付けられてしまう。
	野地 洋正 <1期> 総務建設経済常任委員会 委員長	地域コミュニティ、町民力を深める子どもの社会教育について 1 社会教育を通じた子どもたちの育成、成長への考え 2 促進するための行政としての取り組み、事業展開 3 中止された3事業(子ども野外研修、JL養成研修会、高山村訪問)の経緯、考え、今後の考え	質問は地域コミュニティと町民力を深める子どもの社会教育と大きなテーマだったが、青少年指導員活動や今までの町行政の青少年育成事業に限られ、期待はずれ。中止事業については職員の問題意識、責任意識の低さを感じた。それを許してきた議会の責任も認識してほしい。
	添田 孝司 <2期>	社会福祉法人「大磯恒道会」の運営について問う サービスの維持、閉鎖に追い込まれる可能性、県との話し合いの現状と今後 二宮町総合計画と総合戦略について問う 町の最上位計画である総合計画と総合戦略の違いと優先度	現状を聞き出す質問はやめてもらいたい。それは事前に調査して、もっと今後のこと、町としての問題は何か浮き彫りにして、運営を正す方向性を模索してほしい。総合計画と総合戦略の二宮のスタンスができていないように思う。質問で適切に誘導できる技量を磨いてほしい。
	根岸 ゆき子 <4期> 監査委員	通学にも利用できる移動支援事業にはどうか 1 移動支援事業とは。 2 対象と自己負担の内容 3 町の負担額や需要と供給の割合など移動支援利用の実態 4 特別支援学校高等部への自力通学が懸念事項の認識 5 通学支援サポーターとしての活用、町民力の活用、公立小中学校への通学支援、特別支援学校への通学支援 6 通学支援に対する教育委員会の見解	障がい者への移動支援事業を通学に利用できるように、該当者からのヒアリングを踏まえて、多面的に質問。実現のネックとなっている町の財源不足で費用を賄えない状況を町民力でカバーする方法を町民活動推進条例第13条の行政サービスへの参入機会の提供から提案してみたが、現状町民団体にそのような動きがないと門前払い。それを醸成してない問題を追及してほしい。まわりくどい自問するような言い方はやめて、周到に厳しく再質問を。
	渡辺 訓任 <1期> 議会運営委員会副委員長 議会だより編集委員会 委員長	国民健康保険加入者負担の軽減を求める 1 資産割をなくす分割回数を増やすことの検討状況。 2 加入者負担の見直し 3 「払える」国保税を実現するための町の施策 第7期介護保険事業計画は町民に要求に応えるものに 14月より導入された「総合事業」の状況と課題 2 主要なサービスの達成状況、地域密着型施設の運営と経営、介護事業を担う人材の確保と育成 3 計画に必要な介護の質と量の把握や確保方法 新入学児童生徒学用品援助の引き上げと前倒しを求める 1 町の子どもたちが置かれている家庭や生活の状況の変化。 2 援助の引き上げと支給時期の前倒しの年度内実施の考え	再三質問してきたテーマなので、こなれた質問。今回から導入したパワーポイントを使って、県内の状況図、負担増やアンケート結果のグラフなどを多用し、質問の根拠などが明確になり、わかりやすかった。 町民の要求に応える介護保険事業計画は大磯恒道会の問題も事例として取り上げ、介護の質の問題を追及した。 新入学児童生徒学用品援助の引き上げと前倒しを求めた質問をし、中学校については年度内実施を答弁に引き出した。 これからも、重要な問題を戦略的に質問し、具現化する質問技術を磨いてほしい。
質問しなかった議員	桑原英俊、杉崎俊雄、善波宣雄 (敬称省略・議長を除く・議席番号順)		